

●旅の「こだわり」

安心・充実の旅

●ご旅行条件（要約）

●募集型企画旅行契約
この旅行は株式会社タビーズ（以下「当社」）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加するお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」）を締結し、株式会社ユーラストラベルが問合せ・申込みを受付けます。

条件は下記他、別途旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終旅行日程表＝確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によります。

●旅行条件・旅行代金の基準
この旅行条件は2020年1月10日を基準としています。また、この旅行代金は2020年1月10日現在の有効なものとして公示されている運賃・規則、又は2020年1月20日現在認可申請中の航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

●旅行契約の解除
最少催行人数に達しなかった場合、旅行を中止することがあります。この場合は、出発の23日前（ピーク時は33日前）迄にお知らせします。

●取消料
旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、下記の金額を取消料として申し受けます（お一人様）。

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って40日目にあたる日以降～31日目【ピーク時】4/27～5/6,7/20～8/31, 12/20～1/7に開始する	旅行代金の10%

- 一般観光旅行とは異なるテーマや趣旨に沿った旅づくり
- 観光を短縮するような買物めぐりはしません！
- 詳しい資料やきめ細やかなご案内-安心・充実の旅
- 格安ツアーに見られる「安かろう・悪かろう」にしない「こだわり」の旅

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算して遡って30日目にあたる日以降	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日以降	旅行代金の50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	旅行代金の100%

※オプション・ツアー代金も上記取消料に準じます。 ※査証（ビザ）取得実費代金、渡航手続手数料は、そのまま申し受けます。

- 旅行代金に含まれるもの（一部例示）
 - ・航空運賃：旅程に表記した区間の個人包括旅行運賃
 - ・宿泊料金：2人部屋基準、税・サービス料
 - ・食事代：旅程に表記のもの
 - ・空港、駅～ホテル間の送迎車料金
 - ・添乗員同行の経費（同行と明示した場合）
 - ・鉄道運賃（旅程に明示したもの）
 - ・旅程に明示した市内（郊外）見学のガイド料、入場料、チップ

- 旅行代金に含まれないもの（一部例示）
 - ・旅程以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ・渡航手続費用：旅券印紙代（新規に申請される場合）
 - ・渡航手続手数料：出入国記録等書類作成費用、査証（ビザ）取得実費・手数料
 - ・超過手荷物料金：規定重量・大きさ・個数を超える分

- ・個人的費用：電話、電報、FAX、クリーニング代、追加飲食費用
- ・一人部屋追加料金（相部屋の方がいない場合も同様）
- ・空港施設使用料、航空保険料および保安料
- ・訪問国入国税、燃油特別付加運賃
- ・日本国内の交通費、前泊の費用、ポーター
- ・任意の海外旅行傷害保険料、オプション料金

●その他（1）旅行代金はお一人分を表示しています。（2）当社所定の申込書にお客様のローマ字氏名記入の際には、使用されるパスポートに記載されている通りにご記入ください。氏名が誤って記入された場合は、航空券の発行替え、関係する機関への氏名訂正などが必要で、この場合、当社は第15条「旅行者の交替」に準じ、交替手数料をいただきます。なお、運送・宿泊機関の事情により、氏名の訂正が認められず、旅行契約を解除いただく場合もあります。この場合には、「旅行契約後の取消」に準じて手数料をいただきます。

●当社の募集型企画旅行にご参加いただくことにより、航空会社のマイレージを受けられる場合がありますが、同サービスに関わるお問合せ、登録等はお客様自身で当該航空会社へ手続させていただきます。

●時間帯の目安
以下の通りです。航空機、バス等の移動時刻をもとにした目安です。実際の時刻とは異なる場合がありますので、予めご了承ください。

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
4時	6時	8時	12時	17時	19時	23時
						4時

●お問合せ・申込先

“いい旅” 育てて 59年 東京都知事登録旅行業 第3-6973号 日本旅行業協会 正会員
株式会社ユーラストラベル 総合旅行業務取扱管理者：榊原 晋治

ユーラスツアーズ

☎ 03-6453-6633
FAX 03-6453-6630

●担当部署
営業部 団体旅行課
担当：榊原

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル9階

ホームページ <https://www.euras.co.jp>

tokyo@euras.co.jp

●営業日：平日（月～金曜日）09:00～17:30
土・日曜日・祝日は休みです

※当パンフレット掲載の写真はすべてイメージです

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご連絡なく上記の取扱管理者へお尋ねください。

●旅行企画・実施

株式会社タビーズ

〒108-0014 東京都港区芝 5-13-18 いちご三田ビル9階

●お申込方法

1 当パンフレットの「参加予約票」をお送りください

下記の「参加予約票」にご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。 ※お電話、メールにてのお問合せ・お申込み希望のご連絡でも受け付けいたします。 ※当社ホームページからでも可。「正式申込書」にご記入⇒添付してメールあるいはFAX可。

2 正式申込みに必要な書類を旅行社からご案内

「参加予約票」のご連絡後、旅行社より正式申込書と諸条件書類から旅行傷害保険申込書等をお送りします。 ※書類到着後に条件を確認の上で、正式申込みの手続きをお願いします。

3 正式申込み手続き（下記①と②が旅行社に到着次第、正式申込み完了）

- ①正式申込書：ご記入の上、旅行社宛にご連絡ください。
- ②申込金（費用内金）：50,000円を下記口座へお振込みください。

▶口座名義：(株)ユーラストラベル

- ゆうちょ銀行 記号番号 00180-8-265002（〇九店）
- みずほ銀行 神谷町支店（普）口座番号：1370507
- りそな銀行 麻布支店（普）口座番号：1782149

※領収書は、銀行あるいは郵便局が発行する明細書をもって替わりとしています。別途、領収書が必要な場合はお申し出ください。

参加予約票 英文学の故郷～アイルランド・イギリス 9日間

※上記の「参加予約票」をご記入の上、旅行社へお送りください。FAX、メール、郵送、または直接お電話での予約も受け付けています。

①	氏名 (漢字) 姓	氏名 (ローマ字)	ローマ字 (姓)	電話
	住所	氏名 (漢字) 姓	ローマ字 (姓)	
②	氏名 (漢字) 姓	氏名 (ローマ字)	ローマ字 (姓)	電話
	住所	氏名 (漢字) 姓	ローマ字 (姓)	

●都学校生協：□組合員 / □未会員 ● () 学校 □継続会員 ※所属学校名と都学校生協組合の有無を記載ください。

●一人部屋希望：□する □しない → 同室希望者：□いる (お名前：) □いない ● 出発前日宿泊予約(約5~8,000円)：□する □しない

アイルランド・イギリス文学探訪

英文学の故郷 - ケルトの歴史と背景が織り成す文学の地

ダブリン・ゴールウェイ・アラン諸島・スライゴ・ロンドン 9日間

ケルトの魂が息づく大地で、ジェイムス・ジョイスの「ダブリン市民」、W・B・イエイツの「イニスフリー湖の島」、ジョナサン・スウィフトの「ガリバー旅行記」など英文学（アイルランド文学）が描かれたゆかりの地をめぐる

アイルランドは、世界的に著名な作家を数多く輩出している国です。司馬遼太郎は、「アイルランドは三百数十万という人口の国ながら、才能とくに文学においては一途方もない大国である」（『愛蘭土紀行』）と記しています。英文学における偉大な作家の出身地が、実はアイルランドだったということは、あまり知られていません。彼らの作品には、ケルトの神話や民話が今も息づいています。また、その皮肉や風刺には、隣国イギリスから長年受けてきた抑圧の歴史的背景があります。そんな英文学の故郷-アイルランドを訪ねてみませんか。きっと新たな発見と感動があると思います。

工藤 芳弘（講師/東京都学校生活協同組合 専務理事）

都学校生協ツアーならではの『充実・こだわり』プラン

- ☞ 偉大な作家たちゆかりの文学探訪
- ☞ 専門講師による事前学習と現地での解説
- ☞ アイルランド最古の大学図書館とケルト芸術の最高峰「ケルズの書」を見学
- ☞ 映画『アラシ』の舞台ともなったアラシ諸島へ
- ☞ ロンドン・シェイクスピア劇場と夏目漱石ゆかりの地

期間 2020.5/17(日) ▶ 5/25(日)
費用 448,000円 (燃油代・諸税等別)
締切 4/17(金) ※申込先着順

アラン諸島・イニシュモア島 ドゥンエンガス

企画 ● 東京都学校生活協同組合 〒154-0015 東京都世田谷区世田谷 1-41-12
☎.0120-800-535 FAX.0120-100-130 携帯 03-3428-8041

講師が監修
同行の充実ツアー
工藤芳弘氏が
現地で解説
英米文学・日本文学専攻
元国語教諭



ケルトの神話や民話が今も息づくー英文学の偉大な作家の出身地アイルランド

太古の神話や民話が今も息づく 独特な文化と歴史、豊かな自然を有する大地が生み出した文豪たちの作品の背景を訪ねる

旅行代金・諸条件

旅行期間	2020年 5月17日⑩～5月25日⑩ 9日間
旅行代金	448,000円 ※2名1室利用(子ども料金設定なし)
実施人数	30名様(最小催行人数:15名様) ※25名様未満の場合は、旅行費用変更を通知～ご参加の有無を伺います
申込締切	4月17日⑩ (※定員になり次第、締め切ります)
別途費用	●燃油サーチャージ:47,530円 ●訪問国諸税:23,460円 ●空港施設使用料:2,710円 ●国際観光旅客税:1,000円 ※燃油代と訪問国諸税の費用は、発券時のレートによって金額が変動します
一人部屋追加料金	67,000円(※相部屋の方がいない場合も要追加料金)

スケジュール / 食事(朝昼夕) / 宿泊地

1	5/17 (日)	■集合:羽田空港(10:15) ■昼頃:羽田空港(12:15)発 空路、ロシアの首都モスクワ(09h50m)へモスクワで乗継手続き～モスクワ発 空路、ダブリン(1h15m)へ ■夕刻:専用車にてホテルへ	ダブリン 泊
2	5/18 (月)	■午前:トリニティ・カレッジの訪問=アイルランド最古の名門大学の図書館●オールド・ライブラリーとケルト芸術の最高峰『ケルズの書』とロング・ライブラリー、大学入り口にたつオリバー・ゴールドスミスの像 ■午後:ダブリン文学探訪①=◎クライストチャーチ大聖堂、◎セントパトリック大聖堂、◎ジョイスやワイルドの像、スウィフトゆかりの◎メリオン広場	ダブリン 泊
3	5/19 (火)	■終日:ダブリン文学探訪②=◎小泉八雲の家、◎聖メアリー大聖堂、◎セントパトリック大聖堂、◎ジェームス・ジョイスセンター ●ダブリン作家博物館、●キネス・ストアハウスと展望台、◎ジェームス・ジョイスの作品「死者たち」の家、『ダブリン市民』に登場する◎デビッド・バーンス・バブ	ダブリン 泊
4	5/20 (水)	■午前:ダブリン文学探訪③=ジェームス・ジョイスの◎『ユリシーズ』のレリーフ、◎ジェームス・ジョイスタワー ■午後:ダブリン駅(2等/13:25)発 列車「古代アイルランド」時代の漁村ゴールウェイへ(15:40)着 ■着後:ゴールウェイ市内散策	ゴールウェイ 泊
5	5/21 (木)	■早朝:陸路 アラン諸島への玄関口・港町ロッサヴィールへ ■午前:港(10:30)発 海路フェリーで最大のイニシュモア島へ(11:10) ■午後:アラン諸島の島・イニシュモアの見学=映画『アラン』の舞台となった◎古代要塞ドゥーン・エンガスと断崖、◎オブライアン城、劇作家シングがゲール語を習得した◎シングのコテージ ■午後:港(17:00)発 フェリーで再びロッサヴィールへ(17:45)～陸路、専用車にて9世紀ヴァイキングによって開かれたイエイツが愛した街スライゴー(約140%)へ	スライゴー 泊
6	5/22 (金)	■午前:イエイツゆかりの地を見学=◎イエイツの像、◎イエイツ館 ■午後:スライゴー発 陸路途中、イエイツの詩の影響を与えた◎ベンバルベン(テーブルマウンテン)～再びダブリン(約210%)へ ■夕刻:ダブリン空港(18:00)発 空路、イギリスの首都ロンドンへ～着後(19:25)専用車にてホテルへ	ロンドン 泊
7	5/23 (土)	■午前:ロンドン文学探訪=◎夏目漱石の下宿跡、漱石が興味を持った◎ジョン・キーツの家、◎ディケンズゆかりのパー ■午後:シェイクスピア・グローブ劇場の見学=当時は復元した●劇場(グローブ座)、◎セントポール大聖堂 ■夕刻:OP ミュージカルあるいは演劇の観賞 (※内容未定)	ロンドン 泊
8	5/24 (日)	■午前:ヒースロー空港(10:40)発 空路、モスクワ(3h55m)へモスクワで乗継手続き～モスクワ発 空路、帰国の途(09h30m)へ	機中 泊
9	5/25 (月)	■午前:羽田空港(10:30)着 ■着後:入国手続き～通関審査～解散	

●利用予定航空会社:エアフロート航空(スカイチーム)
※団体座席につき、事前座席指定は不可となります。出発当日に成田空港で各自チェックイン時に係員に希望をお伝えください(予約状況によっては希望が通らない場合があります)
●宿泊予定ホテル:ダブリン(シルドロン★★★)/ゴールウェイ(マルドロン★★★)/スライゴー(クレイトン★★★)/ロンドン(チェルシーFC★★★)※パスタのない場合があります。●添乗員:1名同行(羽田発着)


注:日程上の表記=●印=入場見学、◎印=下車見学、○印=車窓より見学、OP印=オプション・ツアー
☎印=機内食、🍴印=食事付、🚪印=自由、✈印=航空機、🚗印=専用車、🚆印=列車、🚢印=フェリー

同行講師 英米文学・日本文学専攻 元国語教諭

くどう よしひろ

工藤 芳弘 氏

●アンネ・フランク、『ホロコースト』研究者
●東京都学校生活協同組合 専務理事
●東京都教職員組合 元委員長
●東京大空襲・戦災資料センター運営委員



都内の中学校教師をへて、東京都教職員組合(都教組)の書記長、委員長を歴任。教師時代から東京大空襲、ヒロシマ・ナガサキ、沖縄、ホロコースト(ショアー)などの学習にとりこんできた。とりわけアンネ・フランクについては、ライフワークとして研究しており、旅の企画や学習会、海外での案内も行っている。現在は、東京都学校生活協同組合専務理事、都教組専門委員、東京大空襲・戦災資料センター運営委員など多くの場所で活動をしている。



●ダブリン DUBLIN

🏠多くの作家を育んだ歴史と伝統を残す街
1000年以上の歴史があり、数多くの有名な作家や芸術家、音楽家を育んできたアイルランドの首都。8世紀末にケルトの小さな町をヴァイキングが占領。その後、イングランド王がアイルランド支配の拠点とし、18世紀には大英帝国第2の都市までに発展する。19世紀後半からの独立運動の中心地となり、イースター蜂起～1922年に独立国家となる。

●ゴールウェイ GALWAY

🏠オスカー・ワイルドの像がある漁村
“古代アイルランド”時代から小さな漁村として生まれ、中世には都市国家として繁栄、15世紀には裕福な14家族の商人が権勢をふるう。その時代を象徴とする建築物が現在も残され、町の発展を見ることが出来る。その後は、クロムウェルらの攻撃で町は破壊されるものの、近年の経済成長により西部の中心都市として活気にあふれている。



トリニティ・カレッジ図書館 『ロング・ルーム』




作 ゆかりの地で訪ねる主だった作家たち

ジェームス・ジョイス James Augustine Aloysius Joyce

1882.2/2 - 1941.1/13


20世紀の最も重要な作家の1人と評価されるアイルランド出身の小説家、詩人。彼の作品世界はダブリンに根差しており、小説の舞台やその主題の多くがアイルランドでの経験を基礎にしている。小説『ユリシーズ』、短編集『ダブリン市民』、『若き芸術家の肖像』、『フィネガンズ・ウェイク』などがある。



ウィリアム・バトラー・イエイツ William Butler Yeats

1865.6/13 - 1939.1/28


アイルランドの詩人・劇作家。妖精譚などを題材とする抒情詩で注目、民族演劇運動を通じてアイルランド文芸復興の担い手となった。20世紀の英語文学において最も重要な詩人の一人とも評される。ノーベル文学賞も受賞。能の影響を受け執筆した戯曲『鷹の井戸』や、抒情詩『イニスフリー湖の島』等がとくに知られる。



ジョナサン・スウィフト Jonathan Swift

1667.11/30 - 1745.10/19


イングランド系アイルランド人の諷刺作家、随筆家、政治パンフレット作者、詩人、および司祭。著名な作品に『ガリヴァー旅行記』『穏健なる提案』『ステラへの消息』『ドレイピア書簡』『書物合戦』『箱物語』などがある。英語の散文で諷刺作品を書いた古今の作家のなかでも第一級と言われる。



オスカー・ワイルド Oscar Fingal O'Flahertie Wills Wilde

1854.10/16 - 1900.11/30


ヴィクトリア朝時代のアイルランド出身の詩人、作家、劇作家。耽美的・退廃的・懐疑的だった19世紀末文学の旗手のように語られる。多彩な文筆活動をしたが、収監～出獄後、失意から回復しないままに没した。代表作に「幸福な王子」「サロメ」「ドリアングレイの肖像」などがある。



オリバー・ゴールドスミス Oliver Goldsmith

1730.11/10 - 1774.4/4


英国の詩人、小説家、劇作家。アイルランド生まれ。主に小説『ウェイクフィールドの牧師』(The Vicar of Wakefield)、喜劇『お人よし』と『負けるが勝ち』、長編詩の『旅人』、詩集の『寒村行』(The Deserted Village)がある。



ジョン・キーツ John Keats

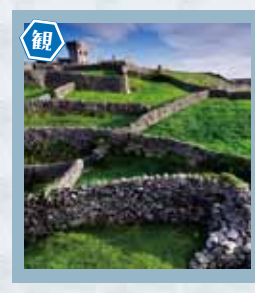
1795.10/31 - 1821.2/23

イギリス・ロマン派の詩人。「詩集」に始まり「エンディミオン」、「レイミア、イザベラ、聖アグネス祭前夜その他の詩」を次々に出版。最後の詩集には不朽の名作オード数編が収められている。天賦の偉才を遺憾なく発揮してシェークスピアに比肩するといわれる詩業を樹立した。




●アラン諸島・イニシュモア島 ARAN ISLANDS / INISHMORE

🏠石灰岩の大地が広がるケルト文化の中心
大西洋岸のゴールウェイ湾に浮かぶ絶海の島々・アラン諸島。アイルランド語=ゲール語が日常語として使われる“まさにケルト文化の中心地”。先史時代や初期キリスト教時代の古代遺跡が多く、ケルト人がアラン諸島に渡った時には、すでに先住民のモニュメントがあったとされる歴史をもつ。




●スライゴー SLIGO

🏠W.B. イエイツが愛した「心の故郷」
アイルランド北西部の中心都市。9世紀にヴァイキングによって開かれ、13世紀には数々の教会が造られ繁栄した。湖を囲む森林、アシなどの湿原にハクチョウが浮かぶ風景は情緒を感じさせる。詩人イエイツの母親の故郷で、子供時代に多くの時を過ごしたこの地をしばしば訪れ、「我が心の故郷」と書き残したと言われる。



●ロンドン LONDON

🏠夏目漱石も愛した大英帝国の首都
8世紀にイギリス文学の始祖と言われる長編叙事詩が誕生してから、16世紀前後のジェイクスピアの時代、17世紀のピューリタン文学～ロマン主義、ヴィクトリア女王の時代と多くの文豪と作品を生み出し続けているヨーロッパでも有数の大都市であり、イギリスの首都。多くのアイルランド出身の作家もこの街で活躍した。



OP オプション・ツアーのご案内

芝居やミュージカルの本場で観劇を楽しむ

●5/23 内容・未定-決定次第ご案内
*入場料・往復送迎車付き(予定)
*5名様以上で実施予定
ロンドン滞在中の楽しみ1つ「観劇」。大小様々な劇場があり、芝居、ミュージカル、コンサートが連日開催されている。

